

オープンデータ利活用による地域課題を考えるワークショップの開催について

1 事業目的

オープンデータの推進のためには、区の公表データを充実していく一方、データを利活用する側の意識の醸成が重要であり、オープンデータの目的や活用方法等の理解を深めてもらうための場が必要である。

本事業は、平成28年度の協働事業提案制度で採択されたもので、民間団体と連携し、データを活用しながら地域課題を考え、解決に向けたアイデアづくりを行うワークショップを通じ、オープンデータ利活用の普及・啓発とともに、区民参加と協働の機会の拡充につなげていくことを目的とする。

2 実施内容

地域課題等を集め考えるワークショップの開催（第1回）

- (1) イベント名 「品川をもっと住みよくするためには？ みんなで考えるワークショップ」
- (2) 内 容 ・ワークショップとオープンデータの目的の説明
・地域課題の洗い出し（グループディスカッション）
・今後の活動告知 など
- (3) 開 催 日 平成29年6月3日（土）午後1時～4時
- (4) 会 場 大崎第二区民集会所（大崎2-9-4）
- (5) 講 師 矢崎裕一（「Code for Tokyo（コード フォー トキョウ）」代表）
- (6) 募 集 人 数 40名（抽選）
- (7) 応 募 方 法 往復はがき・ファックスか電子申請により情報推進課へ（5月16日必着）
- (8) 周 知 方 法 広報しながわ（5月1日号）掲載、区ホームページ掲載、区施設へのチラシ設置 等

3 今後の予定

- 平成29年10月 ワークショップ開催（第2回）
第1回の課題を解決するアイデア創出（アイデアソン）
- 11月 ワークショップ開催（第3回）
第2回の実現するアプリ開発設計（ハッカソン）
- 11月～ アプリ開発作業
※アプリ実装のために区によるオープンデータ提供を実施
- 平成30年 2月 成果発表会